

北海道聖書学院 2021年度 1学期(4/13~6/29) 聴講のための授業案内

| 曜日 | 科目名 | 講師・教師 | 授業内容 |
|-----|----------|---------|---|
| 火曜日 | ギリシャ語文法① | 小澤和男師 | 火曜日と金曜日に学びます。ギリシャ語で書かれている新約聖書原典を読むために、基礎的な文法を学びます。多くの時間と努力を要する学びですが、原典に接することで得られる恵みは計り知ることができません。 |
| | キリスト教史① | 川崎憲久師 | 「知識もなしに言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。」(ヨブ記38:2) 歴史を知ることを通して神の摂理に対する信仰の目が養われます。 |
| | 宣教学(史) | 松元 潤師 | 世界宣教の歴史を通して宣教とは何かを学び、「今日におけるキリスト者の宣教」(J・ストット、C・ライト共著)から宣教を捉える視点を見出し、深化を語り、私たちが遣わされる教会を考えることを目指します。 |
| | 創世記 | ウィッドマー師 | 火曜日3・4時限と水曜日1・2時限に学びます。(5/19で終了) 創世記はユダヤ教、キリスト教信仰両方の土台となる書物である。講義では古代近東の文脈における創世記を概観し、多神教国家、近代日本に生きる私達へのメッセージを考察する。 |
| 創世記 | | | |
| 水曜日 | 文章論 | 込堂一博師 | 本クラスではキリスト教信仰(牧会・宣教)における文章の重要性を認識し、文章作成の姿勢や文章作成能力の向上を目的とします。そのためにクラスでは一方的講義ではなく、実際に文章を書くことを通して学びます。 |
| | 旧約聖書通論① | 吉田浩二師 | 創世記から小預言書までを3学期かけて学びます。各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。 |
| | 使徒の働き | 吉田麻希子師 | 使徒の働きの概要をつかみ、主の聖霊に導かれ満たされて宣教と教会形成に励んだ姿から学びます。 |
| | 組織神学序説 | 松元ハンナ師 | 4/15~5/20は1・2時限と3・4時限に、5/27~6/24は1・2時限に学びます。神学を学ぶ意味、神学の前提などを一緒に考えます。神学することと神のために生きることが統合されていくための本質的な学びです。 |
| 木曜日 | 啓示・聖書論 | 松元ハンナ師 | 1学期は5/24~6/24の3・4時限に、2学期8/19~11/4日の3・4時限に学びます。聖書そのものが何を語っているかを土台に、啓示の意味と価値を学びます。そして学院の授業の柱となっている聖書釈義の前提である聖書の無謬性について共に考え、私たちの聖書観を確認します。 |
| | カテキズム | 水草修治師 | 使徒パウロは「神のご計画のすべてを、余すところなくあなたがたに知らせた」(使徒20:27)と言いました。このクラスは、神のご計画の全体をバランスよく理解するために、教理問答というかたちで体系的に整理するものです。資料は、当方で用意します。 |
| | 説教理論Ⅲ | 小澤和男師 | 講解説教の準備を学ぶためのより実践的なクラスです。「説教理論I・II」「ギリシャ語文法」を履修された方が履修することができます。 |
| | ギリシャ語文法② | 小澤和男師 | 火曜日の欄参照 |
| 金曜日 | 牧会学I(基礎) | 竹本邦昭師 | 牧会とは何か、牧会者とはだれか、何を、いかになすのか、「牧会」ということばを使う人によって様々な混乱が起きています。このような牧会の現場での混乱、教会の中の痛みを聖書からの解決を求めます。 |
| | 個人伝道 | 堀田修一師 | 主の恵みを味わい、みことばを学び、ご聖霊に拠り頼んで主を伝える器となることを目標とします。イエス様の個人伝道から学び、創造、罪、救いの確信、三位一体についてなど個人伝道の実践を学びます。 |
| 土曜日 | 帰納的聖書研究法 | 吉田麻希子師 | 聖書が何を語っているかを観察し、解釈・適用を考える帰納的聖書研究法の実践を学びます。 |
| | 新約聖書通論① | 吉田麻希子師 | 新約聖書の各巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。 |
| | キリスト教倫理 | 菜花和男師 | 21世紀において教会・キリスト者はどう生きるべきか。現代社会の課題を意識しつつ、キリスト教倫理の土台として十戒を取り上げます。テキストは泉田 昭著「キリスト教倫理」(いのちのことば社2009年)です。 |

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。

(聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき、1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回)

複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。